

9/20^土～9/26^金は動物愛護週間です



喜びや安らぎを与えてくれる犬や猫などのペットを、大切な家族の一員として考えている方がたくさんいらっしゃいます。その一方で、飼育マナーを守らなかったり、安易にペットを捨てたり、虐待したりする方もいます。この一部の心ない無責任な飼い主の行動が、正しく飼育されている方にまで迷惑をおよぼしています。

毎年9月20日から26日の1週間は、動物を愛する気持ちとペットなどの正しい飼い方について、もっとみんなに関心を持ってもらおう、という目的で定められた動物愛護週間です。これを機会に、ペットを飼っている人はもちろんのこと、そうでない人も身近な動物について考えてみましょう。

お願い！ 飼い主さん



- ① ペットの繁殖は、飼い主さんが責任を持てる範囲にしましょう
- ② 動物による感染症についての知識を持ちましょう
- ③ 動物の習性など正しく理解し、周辺の衛生や安全に配慮しましょう
- ④ 最後まで責任をもって飼いましょ
- ⑤ ペットの所有者がわかるようにしましょう

環境課 ☎66・1121

生命の尊さを考えてみよう

どんなに小さな動物も、私たち人間と同じ、命ある生き物。動物を愛するということは、命の尊さを知ることでもあります。犬だつて猫だつて小鳥だつて、みんな一生懸命に生きています。身近な動物たちの命をいづくしむややしい気持ちは、家族や友だちを大切にしている気持ちにもつながります。

最後まで ペットをかわいがろう

かわいがっていた犬や猫などのペットを、飼い主の都合で捨ててしまう人がいます。捨てられてしまった動物の気持ちを考えると、とても悲しくなりませんか。一度飼い始めたペットの面倒をみるこ

しつけも大切です

とは、飼い主の責任です。だから、ペットを飼いたいと思ったときは、本当に責任をもって面倒をみられるかどうか、家族のみんなと一緒に考えてみる必要があります。

ペットを飼うときは、かわいがつてあげるだけではなく、よその人に迷惑をかけないように、きちんとしつけをしてあげることが大切です。愛する家族が周りの人に嫌われては、かわいそうです。それに、飼っている犬や猫が外でフンをしたときは、飼い主がきちんと後始末をしなければいけないなど、飼い主が守らなければならぬルールもいろいろあります。このへんを考えると、楽しくペットとつき合っていきたいものです。